＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	永く住み継ぐ京(みやこ)
グループの名称	京都くらし方研究会
直近採択グループ番号	06-0777-0518

（グループ代表者）

代表者名	波多野　賢　　代表者印
代表者所属先	株式会社リヴ
代表者所在地	京都府向日市寺戸町寺戸町七ノ坪141
代表者電話番号	075-924-0211

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社市川宣広一級建築士事務所
事務局担当者名	市川　宣広　　印
事務局郵便番号	617-0835
事務局所在地	京都府長岡京市城の里13-1
事務局電話番号	075-952-3031
事務局FAX	075-956-6778
事務局担当者E-mail	liv_design_office@yahoo.co.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	永く住み継ぐ京(みやこ)
２．グループの名称(必須)	京都くらし方研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0777-0518
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	滋賀県・京都府・大阪府
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	波夛野　賢
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社リヴ
８．グループ代表者所在地(必須)	京都府向日市寺戸町寺戸町七ノ坪141
９．グループ代表者電話番号(必須)	075-924-0211
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社市川宣広一級建築士事務所
１１．グループ事務局担当者名(必須)	市川　宣広
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	617-0835
１３．グループ事務局所在地(必須)	京都府長岡京市城の里13-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	075-952-3031
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	075-956-6778
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	liv_design_office@yahoo.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	1	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	3	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	□　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	京都府産木材	京都府	京都府産木材認証制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	長期優良住宅について、経験工務店は1～2棟／年を基本とする。 未経験工務店は、まず1棟の経験を目安とする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型									
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）　　＜様式 2-2・Ⅰ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
26	Ⅰ － 1	日吉町森林組合		629-0341	京都府南丹市日吉町殿田尾崎8番地1	0771-72-0017
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
26	Ⅱ － 2	集建産業株式会社		615-0806	京都府京都市右京区西京極畔勝町15番地	075-314-3288
26	Ⅱ － 3	辻井木材株式会社		604-8412	京都府京都市中京区西ノ京南聖町13番地	075-841-4386
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
26	Ⅲ － 2	集建産業株式会社		615-0806	京都府京都市右京区西京極畔勝町15番地	075-314-3288
26	Ⅲ － 3	辻井木材株式会社		604-8412	京都府京都市中京区西ノ京南聖町13番地	075-841-4386
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
26	Ⅳ － 2	集建産業株式会社		615-0806	京都府京都市右京区西京極畔勝町15番地	075-314-3288
26	Ⅳ － 3	辻井木材株式会社		604-8412	京都府京都市中京区西ノ京南聖町13番地	075-841-4386
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ⅴ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
26	Ⅴ － 4	株式会社市川宣広一級建築士事務所		617-0835	京都府長岡京市城の里13番地1	075-952-3031	○	
26	Ⅴ － 5	株式会社リヴ		617-0002	京都府向日市寺戸町七ノ坪141	075-924-0211	○	
26	Ⅴ － 6	HARU建築設計室　一級建築士事務所		615-8106	京都府京都市西京区川島滑樋町41-1 スタンザ桂 204	075-754-7826		○
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
26	Ⅵ - 5	76662	株式会社リヴ		617-0002	京都府向日市寺戸町七ノ坪141	075-924-0211	○	
26	Ⅵ - 7	76541	OKAMURA工房株式会社		621-0804	京都府亀岡市追分町馬場通24－4	0771-22-9090		○
26	Ⅵ - 8	76633	株式会社サンケイ住宅サービス		617-0002	京都府向日市寺戸町東田中瀬17－4	075-922-2882		○
26	Ⅵ - 9	76672	株式会社嵯峨山園		610-1113	京都府京都市西京区大枝南福西町三丁目11-12	075-331-6851		○
26	Ⅵ - 10	76683	株式会社小野建築設計		610-1123	京都府京都市西京区大原野上里南ノ町10番地	075-335-2254		○
26	Ⅵ - 11	76702	株式会社能見工務店		610-1126	京都府京都市西京区大原野上里男鹿町1－5	075-963-6208		○
26	Ⅵ - 12	83051	株式会社さかき建築工務		610-1101	京都府京都市西京区大枝北沓掛町2-9-21	075-202-4827		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数（H27～H29）			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ．施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
26	Ⅵ － 5	76662	株式会社リヴ	48 戸	47 戸	48 戸	47 戸	0 戸	2 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	
26	Ⅵ － 7	76541	OKAMURA工房株式会社	8 戸	6 戸	2 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
26	Ⅵ － 8	76633	株式会社サンケイ住宅サービス	5 戸	6 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
26	Ⅵ － 9	76672	株式会社嵯峨山園	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
26	Ⅵ － 10	76683	株式会社小野建築設計	8 戸	7 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上			
26	Ⅵ － 11	76702	株式会社能見工務店	4 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
26	Ⅵ － 12	83051	株式会社さかき建築工務	3 戸	3 戸	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く住み継ぐ京(みやこ)	（地域型住宅供給対象地域）滋賀県・京都府・大阪府
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）京都くらし方研究会	（結成年）2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0777-0518	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	京都盆地特有の、夏は蒸し暑く冬は底冷えの気候の厳しい環境下とされている。 長期優良住宅、又は認定低炭素住宅以上の性能・省エネ基準を遵守する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	在来軸組工法及び、ツーバイフォー工法とする。 どちらの住宅においても、地域産木材を直接見る、又はふれることの出来る箇所を設けることとする。 （京都府産材を使用したフローリング等を活用する）	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	平成30年度にかけて、より京都の気候と文化に合わせた家づくりについて、その基本仕様が策定される予定の、京都市が推奨する「平成の京町家」モデルを参考に、地域・街並みに合う外観デザインとする。 間取りにおいては、開口位置・大きさに配慮し、地域の卓越風向を考慮した風通しを確保する。	○
④ ①～③の背景	間口が狭く、奥行きが長い、「ウナギの寝床」と呼ばれる敷地においても、 夏の暑さ、冬の寒さをしのぐ住まい方が京都では古くからされてきた。 観光都市として京都が盛り上がる中、一方でより「京都らしい」建物や家づくりが求められており、 京都の住まい文化において培われてきた、従来の自然エネルギーの活用を行う住まいづくりを行う。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造部に使う部材においては、寸法をできるだけ統一し、プラン作成の簡略化と共に、後述する地域産木材の出荷分量把握と、コスト管理を行いやすくする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：特に内装材において、地域産木材のフローリングをはじめ、グループ内での仕様建材の統一化を進める。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造材・内装材の一部においては、地域産材の仕様の標準化を図っている。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループでの建材・資材調達においては、共同化をはかり、 コストダウン及び、事務の合理化を図る。また、地域材使用において重要な、 木材需要量の発信を供給側に行いやすい体制をつくる。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：仕様の標準化・統一化で、調達事務の合理化が既に図られている。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：グループ内において、生産の合理化の向上を図る分科会（委員会）を設置し、 部材の合理的な使用についての検討を継続的に行うものとする。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：特に地域産木材の建材供給においては、需要情報の需給者間での共有が重要である。 事務局においては、申請情報の把握時に供給側への情報発信を行い、資材の供給とコスト情報を把握・発信する。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：対ハウスメーカー、対大手ビルダーに対する地域工務店の施工力のアピールの為に、 設計事務所が中心となって、グループ内の共通仕様部分と、その長所を発信する。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：前述の様に、設計事務所が中心となって、施工時の検査を行い、結果をフィードバックする。 フィードバック後、グループ内における、施工品質チェックのルールの作成を行う。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：グループ内において、既に長期優良住宅を経験している工務店を中心に、 各社の見積、及び実行予算を比較・話し合う分科会を継続中である。 未経験工務店への発信を含めて、建築主に伝わるルールの策定を行う。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：他のグループとの情報共有も兼ねて、京都の産官学の有志の集まりである、「平成の京町家を考える会」への参加を行っている。他グループとの合同勉強会も積極的に継続する。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：建築現場へ携わる関係者によって、休日となる日が違う場合があるが、 関係者同士での連絡および休日の事前の周知を徹底することで、 連携を取り、またしっかり2日の休日が確保できるようにしている。	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：グループ各社での社内勉強会によるノウハウの共有や、 資格手当を支給することで技能や経験が増やせるように取り組んでいる。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：未加入者無しのグループづくりを目指し、また実際、実践している。	◎
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：定期的に、建築現場でのヒヤリハットを防ぐための振り返り会を行ったり、 労働のあり方そのものについて講習等を通して見直せるようにしている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各工務店での、事業認定物件のオープンハウス情報を共有化し、 それぞれのお客様への普及及び信頼度向上の速度を速めていく。 ブランド化・グリーン化を通して、グループ内・対お客様に対しての公開が進んでいる。				◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く住み継ぐ京(みやこ)	（地域型住宅供給対象地域）滋賀県・京都府・大阪府
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）京都くらし方研究会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0777-0518	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：設計事務所で、一元的にいえかるてを作成を行うことで、共通の履歴情報管理を行う。また、定期点検を行っている工務店のノウハウを共有し、共通化をはかる。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：履歴情報サービス機関の活用を継続する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：主に設計事務所が中心となり、履歴情報の管理・確認を行う。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：定期的なアフターメンテナンスを行っている工務店のノウハウを共有し、メンテナンス、リフォーム基準を作成する。また、ライフスタイルの変化に応じた、可変性を持った間取りづくりの提案も行っていく。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：ノウハウ共有から、建材の一部については、共通したメンテナンスのルールを設定する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：設計事務所が中心となり、情報管理を行う。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：地域イベントとして、講演会・無料相談会・体感・体験イベントを継続して行う。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：同上の様に、地域イベントを継続して行う。（ブランド化事業から、7年連続開催中）	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：同上の様に、地域イベントを継続して行う。（ブランド化事業から、7年連続開催中）	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：平成27年度より、共通仕様化を図った、地域産材フローリングについての維持管理を検証する委員会を設置し、活動を継続中である。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：ブランド化事業時から、実際に一社の廃業者があったことから、引き継ぎのルール化として、（グループ仕様においての住宅の）管理引き継ぎルールは作成している。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：維持管理を行う委員会において、勉強会を実施中。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：現在、グループ内で、全く長期優良住宅を建てたことが無いという、未経験工務店は、少数になってきている。設計事務所を中心に、施工技術の勉強会を継続していく。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：現在、2カ月に一回の分科会の開催と、年2回の施工技術勉強会を行っている。継続して行っていく。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：分化会内で、随時確認を行う。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：棟数把握を2カ月ごとに行い、地域産材確保を円滑に行う。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：ブランド化事業スタート時から継続的に技術育成を行っている。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：各工程での、職人レベル及び工事管理者の合同勉強会を行っている。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　5	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　5	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：各社に参加人数を割り当て、必修とする。	◎
c	①	新たな技術等の導入	■ ない	□ ある →	内容：	
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：気候風土に合った地域の住文化(近隣の、旧街道沿いの京町家)を継承する省エネ住宅の新築の取り組みを行っている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く住み継ぐ京(みやこ)	（地域型住宅供給対象地域）滋賀県・京都府・大阪府
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）京都くらし方研究会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0777-0518	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造部に使用する。 京都は、森林の比率において、スギが多いことから、スギを中心に使用する。 また、木目が美しいとされる京都の木材のアピールの為に、構造材又は内装材の無垢材現しの部分を設ける。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：■ 使用していない　□ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	京都府内産木材認証制度は「ウッドマイレージCO2」制度という通称があり、 その名の通り、地域産材を使うことで、材料としてのCO2発生を減少させる取り組みでもある。 部材の流通のビジュアル化と省CO2化の表記も行われており、分かりやすい資料の為、 検討中のお客様にも、その具体的な効果をお伝えする。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　2か月に一度の分科会にて、建築予定物件と、地域産材の在庫量のすり合わせを行っている。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　定価販売化を図っている。(地域産材の内装材)	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　2か月に一度の分科会にて、受注予定から把握。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定枚数(1畳間)　30枚	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定枚数(3×6換算)　12枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　今年度の仕様予定枚数(3×6換算)　12枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　夏は暑さを和らげ、照り返しの緩和効果も高い、縁側、中庭など、京町家でも活用されてきた、「環境調整空間」と呼ばれる、エコロジーなスペースの設置を積極的に行い、都市型においても、人工的なエネルギーの仕様を減らすことのできる空間を活用する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　各地域の景観条例等の遵守を行いながら、京都の街並みに合うデザインを積極的に採用する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　地域の風向特性や、換気の仕組みを活用した、「都市型パッシブ」というべき住まいのあり方を提案する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　軒の長さ、庇の出し方などに、京都市「平成の京町家」を三航士にした、街並み形成に起用する外観を提案する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　京都西西部の街並みに相応しい外観を形成するとともに、続き間仕様などの和の住まいの可能性も推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組	募金およびチャリティーイベントの開催。 地域的に同様の直下型地震が想定されるので、被災情報の堆積を行った大学教授のお話をうかがったり、勉強会を開いた。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）永く住み継ぐ京(みやこ)	（地域型住宅供給対象地域）滋賀県・京都府・大阪府
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）京都くらし方研究会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0777-0518	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。